

ダウンロード企画のご利用をありがとうございます。

フロ バタビツソフトを道具にファッションを謳歌しているユーザーが増えてきました。

製図に不慣れでも正確な製図が簡単に得られ、今までのどの手段からも得られなかったおしやれを確実に楽しんでいる一般ユーザー。

アパレル企業やオーダー事業では、使えば使う程繊細で自由な製図を可能にする**バタビツ**ソフトは、やはり こちらも今までのどの手段からも得られなかった効果(正確、スピード、バランス)を得て 事業の活性化に過大な効果を上げています。

この企画は、**バタビツ**ソフト未体験の方に**バタビツ**ソフトの使い易さと性能を知っていただく目的と、既に**バタビツ**をご利用の現ユーザーにも 是非知っていただきたい基本を分かり易く説明しました。ここをばっちり押さえれば、今後の製図がとても楽になりますよ。

ポイントを知り、常に素敵な服と着心地を叶えてください。

バタビツソフト未体験の方は、ダウンロードした 6 サイズの製図を **バタビツ**の印刷機能を使用して実物大型紙としてご利用ください。

家庭用小型プリンター(A4,A3 サイズ)をお使いの方は、「**パーツ分割プリント**」ボタンを押して印刷してください。

大型プリンターでは、紙の幅に納まるように各パーツを配置して、「**プリンタ**」ボタンを押して一紙に印刷してください。

(印刷は、**バタビツ**ソフト、当 HILKY CAD ソフト、又はサービス商品の**バタビツ 入門ソフト**(¥5,800)のレイアウト画面で操作してください。)

縫い代は付いていませんので、服地を裁断する際は、適度な縫い代を付けてご使用ください。 体型によりましては補正が生じる場合もあります。 念の為 十分な縫い代を付けて作成していただきますようお願い致します。

< **バタビツ**製図に縫い代が付いていないのはなぜ? >

バタビツソフトは、デザインを限定しないソフトです。そして、服地についても指定をしていません。さらに、レディースのみならず、キッズ、メンズにも対応します。縫い代幅は、デザインや服地によっても異なります。自由なデザインを可能にする**バタビツ**ソフトには、その理由で縫い代を付けることができないのです。ユーザーの自由な発想で**バタビツ**を無限のデザインに活用していただく為に、敢えて縫い代は付けませんでした。

縫い代付けは、製図を仕上げた最後にする作業です。

事業用パターン(既製服パターン等)の作成で縫い代が必要な場合は、CADソフトの「**縫い代**」機能を使用して行います。

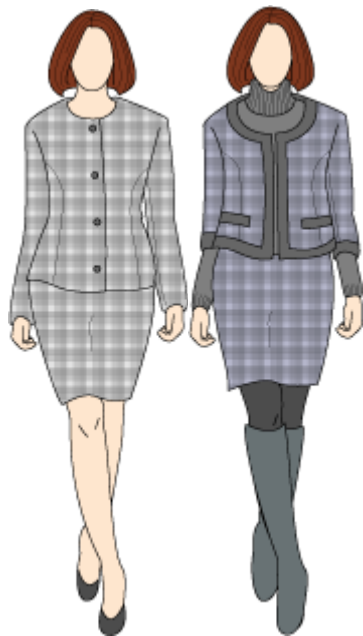
バタビツソフトと互換性のある HILKY CAD ソフトでは Ver. 1.0 に縫い代機能があります。

他社製CADソフトを使用する場合は、相手ソフトにデータ移行(DXF ファイルに変換して移行)する為に、**DXF変換機能**が必要です。

(他社ソフトとの互換性につきましては、テストが必要です。テストファイルは、お申し込みをいただきましたメールに添付してお送りします。)

フロ バタビツ の基本操作

下の解説は、**バタビツ**ユーザーの為の解説です。基本操作については、先にお渡ししていますマニュアルで詳しく解説していますので、そちらを一読した後こちらの解説にお進みください。



ここで解説するデザインは一例に過ぎません。**バタビツ**はデザインもサイズも自由に操作することのできるソフトです。一部数値を変えるだけでも様々なデザインに変身します。**子供サイズ**を入力すると**親子ペア**が楽しめますよ。

また、**フロ バタビツ**は**メンズ**にも対応します。自由な発想で個性的な**メンズデザイン**も合わせてお楽しみください。

今流行の **シャネル風ジャケット**
ノーマルなジャケットと**ショート丈のジャケット**の操作ポイントを解説します
< **標準体型 A 子さん**の製図操作 >

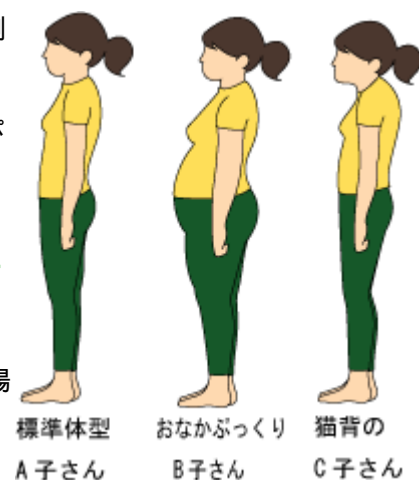
人の体型は様々ですが、ここでは分かり易く、S サイズから 3L サイズまで(計 6 サイズ)を例に、数値操作を表にしました。(下表参照)

フロ バタビツは、本来自分のサイズで操作し、自分にぴったりのおしゃれを楽しんでいただくソフトですから、表を参考に、自分と異なる箇所については、自分の寸法を入力して、自分ぴったりのマイパターンを作成してください。

フロ バタビツは、この 6 サイズ以外のサイズに対しても正確に製図を引きます。バストサイズは 130cm までに対応します。また、それ以上でも補正項目(下表「**身幅調節**」「**前後丈調節**」)を操作すればきれいな製図ができ上がります。

A 子さんの製図で「**前ボタンがかけられない**」「**前身頃が跳ね上がる**」という現象が起こる場合は B 子さんの製図が適合します。

又、A 子さんの製図で「**前身頃が余り、後身頃がきつい**」「**後ろ身頃が釣り上がる**」という現象が起こる場合は C 子さんの製図が適合します。



< 体型をカバーする製図の大切さを学習しましょう >

フロバタビツで作成する製図は体型を強調する製図ではありません。正しい操作で体型をカバーし、誰が見てもおしゃれできれいなラインを引きます。

従来の製図方法(手書き製図、立体的裁断、CAD 製図等)では、この体型をカバーする製図は大変に難しく、プロと言えなかなか満足できる服が叶いませんでした。

フロバタビツは体型バランスを自動で処理しますので、常に格好のいい素敵な服が叶います。

その方法を是非覚えてください。数値操作だけでするので決して難しくありません。素人でもできる簡単な操作です。他のデザインにも応用して、常に素敵な服を叶えましょう。

使用ソフト

TL210-pa ● 基本型 スーツ身頃 (パネルライン)
SL 160 ● 二枚袖

(印は「**フロ バタビツ セット**」に含まれるソフトです。 単品で購入も可能です。)

サイズ入力

流行のデザインです。 ちょっとスリムに製図を引いてみます。

ゆったり着たい方、セーターなどの上に着たい方、又 ご高齢の方は、「**バストゆとり**」「**ヒップゆとり**」の数値を数センチプラスして操作してください。

また、弾力のあるストレッチ素材で作る場合は、「**バストゆとり**」「**ヒップゆとり**」の数値を 2~3cm マイナスするとよりフィット感が味わえます。

< 標準体型 A 子さんの参考入力表 > ノーマルデザインの身頃

入力項目	基準	Sサイズ	Mサイズ	MLサイズ	Lサイズ	2Lサイズ	3Lサイズ
バスト	採寸寸法	76	82	88	94	100	106
背丈	採寸寸法	36	38	38.5	39	40	41
背肩幅	採寸寸法	36	38	39	40	41	42
着丈	背丈×1.38	50	52.5	53	54	55	56.5
ヒップ	採寸寸法	84	88	94	98	103	110
肩いせ/ダーツ	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5
前合わせ寸法	2	2	2	2	2	2	2
Wしまり調節	15	15	15	15	15	15	15
肩ネック P 移動	-2	-2	-2	-2	-2	-2	-2
前ネック P 移動	-2	-2	-2	-2	-2	-2	-2
後ネック P 移動	0	0	0	0	0	0	0

B ダーツ有無	0	0	0	0	0	0	0
肩傾斜調節	バット無しは 0	0	0	0	0	0	0
AH 増減	0	0	0	0	0	0	0
AH 移動	0	0	0	0	0	0	0
WL 移動	0	0	0	0	0	0	0
後ダーツ移動	0	0	0	0	0	0	0
前ダーツ移動	0	0	0	0	0	0	0
B ゆとり	10	10	10	10	10	11	12
H ゆとり	10	10	10	10	10	11	12
身幅調節	体型補正	0	0	0	0	0	0
前後丈調節	体型補正	0	0	0	0	0	0

- 上表は参考数値です。着用者の体型や好みにより、数値変更をするなどで最適な製図を作成してください。また、服地の性質(柔らかさ、弾力、伸び、重み等)により数値も微妙に変化するでしょう。布を裁断し完成するまでの工程では、縫い代を多めに取るなどで補正が生じて不足のない様慎重に進めてください。
- 体型を配慮し、基準と異なる数値操作については青字で区別しました。これも好み等により基準で操作することも可能です。製作者の判断にお任せします。
- **バタピツ**ソフトは上の 6 サイズ以外でも正確に反応します。S サイズ前、3L サイズ以降では、上表を参考に同様に操作してください。
また、体型補正も正確に反応します。「**身幅調節**」や「**前後丈調節**」等の数値の増減で着心地の良い服を作ってください。

実行ボタンを押すと下の製図が画面に現れます。

補足する線は、後身頃の見返し(青色線)だけです。3cm 幅で描きます。

前中心線にボタンを 4 個並べてでき上がりです。(ボタンの位置と個数は特に決まりがありません。ボタンの大きさや着丈で位置も変わります。迷う場合は、でき上がった服にボタンを並べるとイメージがつかみやすいですよ。)

この製図では、ネックラインから 2cm 下に第一ボタン、裾から 11cm 上を最終ボタンとし、3 等分して 4 個並べました。



SL160 ● 二枚袖

身頃のアームホールを測り、袖ソフトに入力します。

入力項目	基準	S サイズ	M サイズ	ML サイズ	L サイズ	2L サイズ	3L サイズ
袖丈	採寸袖丈+2	53	55	56	57	58	58
袖山	後身頃 AH の高さ × 約 0.7	同	同	同	同	同	同
前 AH	計測数値	同	同	同	同	同	同
後 AH	計測数値	同	同	同	同	同	同
袖口寸法	右参照	25	25.5	26	27	28	29
※※※※※							
前いせ調節	0	0	0	0	0	0	0.5
後いせ調節	0	0	0	0	0	0	0
タック(タック)幅調節	0	0	0	0	0	0	0

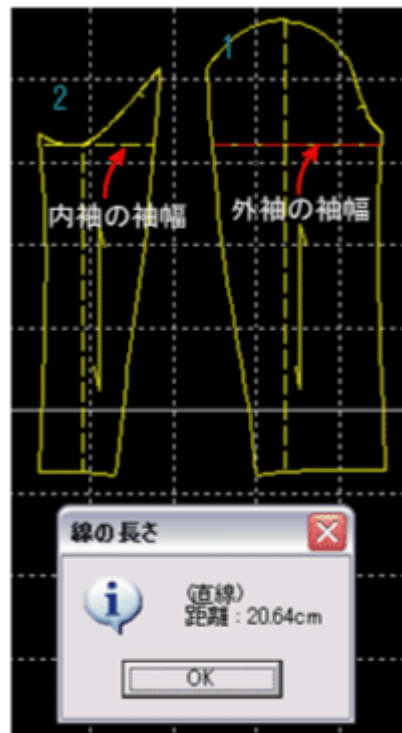
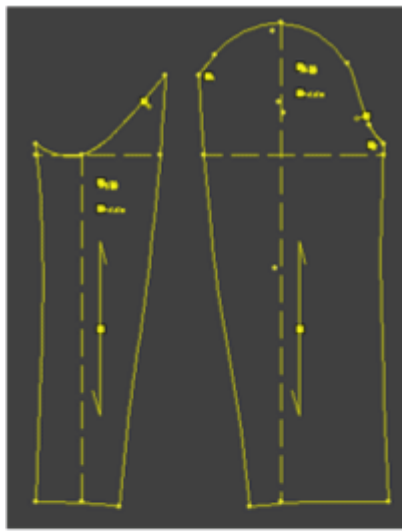
- 上表は参考数値です。袖も身頃と同じく服地の性質(柔らかさ、弾力、伸び、重み等)により数値も微妙に変化するでしょう。布を裁断し完成するまでの工程では、縫い代を多めに取るなどで補正が生じて不足のない様慎重に進めてください。
- 袖幅の確認をして完成させましょう。細過ぎないか太過ぎないか、着用者の胸にメジャーを当てるなどでもおよその判断ができます。「もう少し細くしたい(又は太くしたい)」場合は、「袖山」の増減で調整できます。それでも適度な袖幅が得られない場合は、身頃に戻って「AHの増減」をしてから袖を操作しましょう。
- パタピッソフトは上の 6 サイズ以外でも正確に反応します。S サイズ前、3L サイズ以降では、上表を参考に同様に操作してください。

実行ボタンを押すと下の製図が画面に現れます。

補足する線はありませんので、このまま印刷して使用してください。

3L サイズで「前いせ調節」を「0.5」と操作しましたが、これは体型によりいせが不足する場合がありますので、その微調節です。標準的な操作では「0」のままで問題ありませんが、大きなサイズになると不足することがありますので、この微調整できれいな袖を操作してください。

「いせ調節」の操作については、マニュアルが詳しく解説しています。そちらをご覧ください。



上図は外袖の袖幅線をクリックして寸法が表示されている図です。同様に内袖の袖幅線をクリックすると寸法計測ができます。

個人の体型に合わせて操作する場合は、でき上がりの**袖幅**の確認をして仕上げましょう。
二枚袖では、**外袖**と**内袖**の各**袖幅**を計り合計します。(上図参照)
このデザインの袖幅は、S サイズで約 32cm、M 34.5cm、ML 37cm、L 38.5cm、2L 40.5cm、3L 42.5cm の仕上がりです。
袖幅をより細く(又は太く)したい場合は、袖山を増減することで袖幅は変化しますので、数値変更をして着心地の良い太さに調節しましょう。

以上でノーマルデザインの製図はでき上がりです！ 簡単でしょ。
数値操作だけで 素敵な服ができて上がります！



近頃流行のショート丈、七分袖のジャケットの操作を解説します。
ネックラインもノーマルデザインよりぐっと開けてみました。

TL210-pa ● 基本型 スーツ身頃 (パネルライン)

ノーマルデザインと異なる部分を**ピンク文字**で表しました。

ボタン合わせはありません。その為、「**前合わせ寸法**」は「0」です。

丈が短くなりますので、「**ヒップ**」ではなく「**ミドルヒップ**」の寸法を入れてください。

ネックラインを広げ、縁取りデザインも加わりましたので、身頃の肩幅はノーマルより大分狭くなりました。肩をいせるには少々無理がありますので、このデザインでは「**肩いせ**」は「0」としました。

(「**いせ**」についてはマニュアルが詳しく説明しています。ご覧ください。)

左のイラストでは、冬用として 薄手のセーターを重ね着しています。薄いセーターであれば、「**ゆとり**」数値は上のノーマルジャケットと同じでも多分大丈夫でしょうが、セーターの厚さにより窮屈に感じられる場合は、「**B ゆとり**」「**H ゆとり**」数値を下表より 2～4cm 程増やして操作してください。



< 標準体型 A 子さんの参考入力表 > ショート丈の身頃

入力項目	基準	Sサイズ	Mサイズ	MLサイズ	Lサイズ	2Lサイズ	3Lサイズ
バスト	採寸寸法	76	82	88	94	100	106
背丈	採寸寸法	36	38	38.5	39	40	41
背肩幅	採寸寸法	36	38	39	40	41	42
着丈	背丈×1.26	45.5	48	48.5	49	50.5	51.5
ヒップ	ミッドヒップ採寸寸法	78	82	88	94	99	106
肩いせ/タック	0	0	0	0	0	0	0
前合わせ寸	0	0	0	0	0	0	0
Wしまり調節	13	13	13	13	13	13	13
肩ネック移動	-3	-3	-3	-3	-3	-3	-3
前ネック移動	-6	-6	-6	-6	-6	-6	-6
後ネック移動	0	0	0	0	0	0	0

×××××

Bダーツ有無	0	0	0	0	0	0	0
肩傾斜調節	バット無しは 0	0	0	0	0	0	0
AH 増減	0	0	0	0	0	0	0
AH 移動	0	0	0	0	0	0	0
WL 移動	0	0	0	0	0	0	0
後ダーツ移動	0	0	0	0	0	0	0
前ダーツ移動	0	0	0	0	0	0	0
Bゆとり	10	10	10	10	10	11	12
Hゆとり	10	10	10	10	10	11	12
身幅調節	体型補正	0	0	0	0	0	0
前後丈調節	体型補正	0	0	0	0	0	0

- 上表は参考数値です。着用者の体型や好みにより、数値変更をするなどで最適な製図を作成してください。また、服地の性質(柔らかさ、弾力、伸び、重み等)により数値も微妙に変化するでしょう。布を裁断し完成するまでの工程では、縫い代を多めに取るなどで補正が生じて不足のない様慎重に進めてください。
- 体型を配慮し、基準と異なる数値操作については青字で区別しました。これも好み等により基準で操作することも可能です。製作者の判断にお任せします。
- **バタピツ**ソフトは上の6サイズ以外でも正確に反応します。Sサイズ前、3Lサイズ以降では、上表を参考に同様に操作してください。
また、体型補正も正確に反応します。「**身幅調節**」や「**前後丈調節**」等の数値の増減で着心地の良い服を作ってください。

実行ボタンを押すと下の製図が画面に現れます。

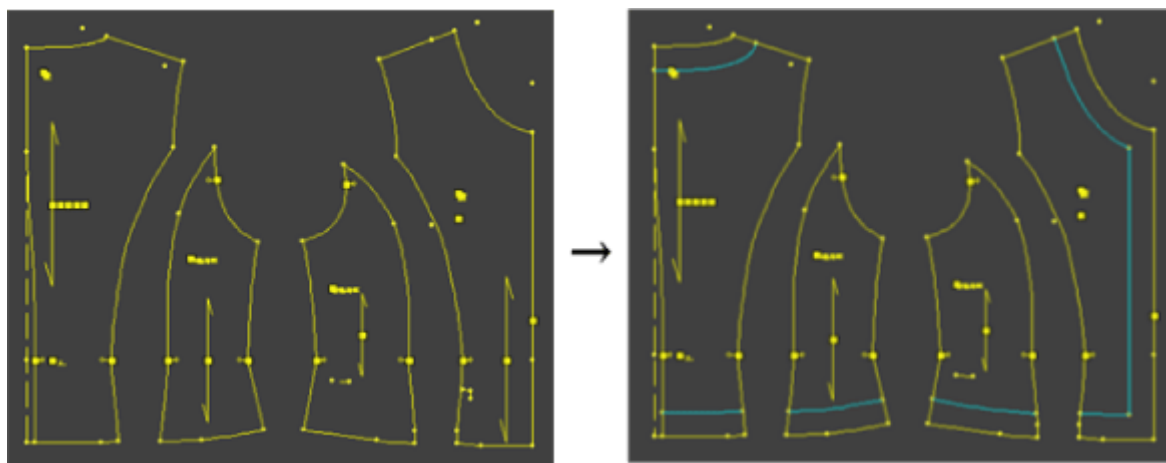
前ネックラインのカーブの丸みを変えてみました。元のカーブ(黄色線)より、イラストのデザインのカーブの方が丸みがありますので、新たにカーブを引き直して修正しました。青色線で区別しました。

3cm 幅の縁取りをして仕上げます。(右製図 縁取りラインを青色で表しました。)

ポケットも**フロ バタピツ**の**スーツ身頃**ソフトでは自動で適度な位置にでき上がります。

このデザインはかなり短い丈ですので、自動で現れる位置より数センチ上に移動してバランスを整えてください。

ちなみに、先に解説したノーマルデザインでも、ポケットが必要であれば同じ操作で作成してください。



SL160 ● 二枚袖

身頃のアームホールを測り、袖ソフトに入力します。七分袖の操作をします。
ノーマルデザインと異なる部分を **ピンク文字** で表しました。

入力項目	基準	S サイズ	M サイズ	ML サイズ	L サイズ	2L サイズ	3L サイズ
袖丈	採寸袖丈×0.74	37.5	39	40	40.5	41.5	41.5
袖山	後身頃 AH の高さ × 約 0.7	同	同	同	同	同	同
前 AH	計測数値	同	同	同	同	同	同
後 AH	計測数値	同	同	同	同	同	同
袖口寸法	右参照	26.5	27	27.5	28.5	29.5	30.5

前いせ調節	0	0	0	0	0	0	0.5
後いせ調節	0	0	0	0	0	0	0
ターツ(タック)幅調節	0	0	0	0	0	0	0

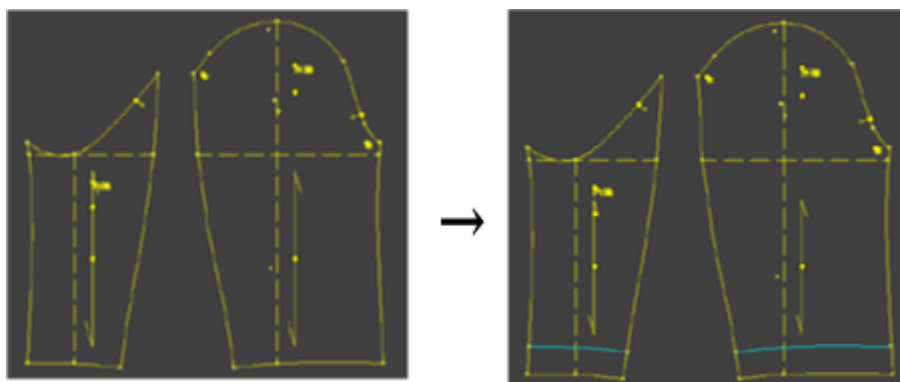
- 上表は参考数値です。袖も身頃と同じく服地の性質(柔らかさ、弾力、伸び、重み等)により数値も微妙に変化するでしょう。布を裁断し完成するまでの工程では、縫い代を多めに取るなどで補正が生じても不足のない様慎重に進めてください。
- **袖幅**の確認をして完成させましょう。細過ぎないか太過ぎないか、着用者の腕にメジャーを当てるなどでもおよその判断ができます。「もう少し細くしたい(又は太くしたい)」場合は、「**袖山**」の増減で調整できます。それでも適度な袖幅が得られない場合は、身頃に戻って「**AH の増減**」をしてから袖を操作しましょう。
- **パタピツ**ソフトは上の6サイズ以外でも正確に反応します。Sサイズ前、3Lサイズ以降では、上表を参考に同様に操作してください。

実行ボタンを押すと下の製図が画面に現れます。

袖口に 3cm 幅の縁取りをして仕上げます。(右製図 縁取りラインを青色で表しました)

中にセーターを着用するのなら、**袖幅**は 1~2cm 広くすると着心地が良いでしょう。

「**袖山**」を僅かに低く操作するだけでも**袖幅**は広がります。程よい袖幅に仕上げてください。



以上で製図はでき上がりです！